|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 議　事　録 | | |
| 会 議 名 | 第1回 西条市地域包括支援センター運営協議会 | |
| 日　　時 | 令和6年8月1日（木）13:30～14:15 | |
| 場　　所 | 本庁５階　５０２会議室 | |
| 出 席 者 | 別添のとおり　計33名  ・西条市地域包括支援センター運営協議会 　委員19／20名  ・事務局等（福祉部長、介護保険課職員）9名  ・地域包括支援センター管理者5名 | |
| 議事概要 | 番号 | 内　容 |
| 1 | ■開会  ・開催を宣言した。 |
| 2 | ■福祉部長あいさつ  ・開催に先立ち、委員の皆さまへの挨拶をおこなった。（出席のお礼、第9期介護保険事業計画策定のお礼、地域包括ケアシステムの重要性及び引き続き協力のお願い等） |
| ■協議会成立の報告  ・全員出席（会議成立要件＝過半数）のため、会議の成立を報告した。 |
| ３ | ■自己紹介  ・新たに着任された委員2名（西条市社会福祉協議会 岡田委員、西条市介護支援専門員連絡会 曽我部委員）の自己紹介をおこなった。 |
| ４ | ■会長・副会長について  ・会長＝西条市医師会 佐藤 公平氏（継続）、副会長＝西条市社会福祉協議会 岡田 澄雄氏（前任者からの引継ぎ））とした。 |
| 5 | 【資料01】について、事務局より説明を行った。  質疑等は以下のとおり。  （佐藤会長）県内他市と比較して、本市の地域支援事業の取組はどのような位置づけか。  （事務局）県内他市町と比較するのは困難であるのが正直なところだが、それぞれの取組について秀でている市町はあり、視察等も行い、勉強させていただいている。  また、県がとりまとめている資料によると、本市の取組は県内他市町と比較しても多種多様であり、その取組内容の広さという点においては、県内でも最上位クラスにあると認識している。  （佐藤委員）知り合いから、西条市の取組は県内他市町と比べて多様であり、進んでいると評価を受けたことがあったので、そのようなことを聞いてみたかった。他の市町を気にし過ぎる必要はないが、これからも県内他市町の取り組みについても参考にしながら取り組んでいただきたい。  （近藤委員）一般介護予防事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、P17）について、地域を担当する医療専門職（保健師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師）とあるが、それぞれが連携して実施しているのか。また、連携しているのであれば、その手段はどのような形でおこなっているのか。  （事務局）本市の3課（国保医療課、健康医療推進課、介護保険課）がそれぞれ連携して取り組んでおり、ポピュレーションアプローチと呼ばれる通いの場等への積極的な関与、ハイリスクアプローチと呼ばれる個別支援については、それぞれが役割を持って分担して取り組んでいる。  （近藤委員）　事業評価（P34）について、センター平均値100%の項目があるが、その分野で完璧に事業が行われているのか。  （事務局）毎年、地域包括支援センターに事業評価に関するアンケートを実施している。それぞれに分類される質問項目に対し、全て出来ているという回答を得られると、100%という結果になる。  （近藤委員）在宅医療・介護連携（P23）に関し、日ごろ見守りをしている近所の高齢者の方から相談があった。調剤薬局の先生を通じて、定期的に眼圧を図る必要があるとアドバイスをいただいたが、なかなか頻繁に通院することが困難なご様子である。どのようにしたらよいか。  （事務局）眼科に通院されているかたにもそのようなご苦労があることを教えていただいた。  （佐藤委員）おそらく、薬剤師から受けたアドバイスは一般的な話だと思われる。一人ひとりその状況は異なっているのは当然のことだと思うので、眼科医に従い、適切に受診されたほうがよいかと思う。  【資料02】について、事務局より説明を行った。  意見・質疑等はなし。  ■議事内容について、いずれも異議なしとして承認。 |
| 協議に  使用した  資料等 | 資料名 | |
| 【資料00】次第、配席表、委員名簿 | |
| 【資料01】西条市地域包括支援センター運営協議会資料 | |
| 【資料02】地域密着型サービスの指定について | |
|  | |

以　上